

実況中継「土曜講座」

第4号 2024年 7月 6日発行

市川学園6月1日の土曜講座 於 國枝記念国際ホール

松本亜沙子先生

深海研究の現在 [SSH 講座]

—船と航海と潜水船映像とともに—



松本亜沙子先生のご紹介

千葉工業大学惑星探査研究センター/東京大学総合博物館
お茶の水女子大学附属高等学校、お茶の水女子大学を経て東京大学理学研究科理学博士(海洋生態学、深海生物学)
アメリカ海洋大気局(NOAA)などの深海調査を中心に、深海冷水域サンゴ、極限生物(超深海、超低温)を主な研究対象とする。
2008年東京大学海洋研究所にて、世界初・超深海7703m日本海溝での生きた魚の撮影に成功。
著書 『海洋生物学の冒険』(2014)

主な講義内容の紹介

海洋生物学者になろうと思ったきっかけとなった映画「LEMONDE DU SILENCE(邦題「沈黙の世界」)」(仏・伊 1956)にはじまり、深海での撮影などスライドや映像を交えての講座でした。150年前の海洋調査の話、探査に使う船や潜水艇、道具の進化や変遷まで詳しく解説されました。

サンゴ礁の研究を多くの方が研究対象にする中、あえて冷水域でのサンゴを研究し、絶対無理だと言われていた超深海7703mでの魚の撮影など海洋調査への情熱が端々に感じられました。

深海は世界の海の75%を占めており、現在でも多くの新種の生物が発見されており、いまだ多くが解明されていないといえます。わずかですが今回の講座で深海の不思議と怖さが知ることができたと思います。潜水艇の事故の話や、日本の調査船の船内には必ず神棚が祀られていることなどから、海洋調査が危険と隣り合わせであることもわかりました。

実際に沈没しているタイタニック号の映像の中で、あの有名な船首を見せながら、手すりについているサンゴに注目してくださいと話す姿は先生のサンゴに対する愛を感じました。

講座後の質疑応答も質問が途切れないほど、生徒の関心が高い講義でした。

受講レポートから

自分の身の周りの事と、深海のことが思っていた以上に関連していることに驚きました。いろいろな海の環境に対応して生きていく様々な動物の進化するための力を改めて、実感することができました。自分の知らない世界にも、たくさんの生き物が多様な方法で生きていることを知ることができました。昔の人たちが身をもってこのような技術があることを知ることができました。今、自分が深海の生物や出来事を詳しく知ることができるのは、命がけで研究をしている人たちがいるからだと言うことを実感することができました。深海の現在だけでなく、深海の歴史も知ることができてよかったです。自分の知っている深海のイメージと今日講演で聞いた現在の深海が違うことに驚きました。このような機会を作っていただきありがとうございました。(中1男子)



とても興味深いご講義ありがとうございました。タイタニック号のシーンは少しだけ知っていたのですが、沈没してから発見された事は全く知りませんでした。また実際の写真、動画等がありとても理解しやすく勉強になりました。特に深海サンゴの種類の多さ、白色だけではなく色の多彩さに驚きました。また資料にQRコードが載っていたので調べようと思います。(中2男子)

深海について詳しく学んだ事はなかったので、面白かった。小学校の時の好奇心が今も続いて研究者になったのがすごく、かっこいいと思った。簡単に見ることができない深海の研究は難しいけど、とても楽しそう。船に乗って研究するたびにどんどん新しいことが発見されたり、船自体も進化していったりなどまだまだわからないことがたくさんあるんだなと思ったタイタニックの映画が好きだったので、写真を見れてよかった。知りたいものを追求するのは面白そうで、私も興味があるものを見つけて掘り下げたいと思った。(中3女子)



水深1000メートル近くはもう半分深海のような深さなのに太陽の光が届いて明るい場所もあると言うのに驚きました。私もタイタニックの映画が大好きで何回も観たことがあったので映像等とても興味深かったです。タイタニックが沈んだところは暖流と寒流がぶつかり、ちょうど境界面の場所で濃霧が発生するため、氷河を目視しづらかったと言うのを初めて聞いたので、なるほどなと納得しました。日本海溝水深7003mに生きた魚がいたと言うのもとても驚きました。映像を踏まえてお話して下さってとてもわかりやすかったですし、面白かったです。講師様のお話の仕方がほんとに海が好きで研究が好きなんだと伝えるもので、何かに夢中になって研究する事は本当に素敵だなと思いました。話を聞いているうちにどんどん引き込まれていくととても興味深いご講演でした。ありがとうございました。(高2女子)

私はあまり深海やサンゴについて詳しくなかったので、今日の講演でサンゴに様々な形があることや生息域によって呼び方が異なることを初めて知り、とても驚きました。自分のイメージでは、サンゴはカラフルで植物のような形をしていると思っていたのですが、生物のような形をしたものや丸いものなどがあるのを見て、とても面白いと感じました。またタイタニック号の先端から深海サンゴが見つかったと言う話から海底以外にも生息していることを初めて知り興味深いと思いました。最近でもたくさん新種が見つかっていて、いまだに海には謎が多いと言うことを知って、今後の海洋研究の発展が楽しみになり、自分でも少し調べてみたくなりました。とても興味深い講演をありがとうございました。(高2女子)



(文責：久保田 寛人 先生)